

# 最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅳ

## 都技 生涯 研修

### [重要なお知らせ]

1. コロナウイルス感染拡大防止目的により、参加申し込み者のみが視聴できるYouTubeの限定公開システムを用いたオンラインによるセミナー開催となります（\*オンライン環境がない方は会場参加可）。
2. **本研修会は東京都福祉保健局よりの委託事業となっております。**  
**つきましては受講対象者は以下の方に限ります。**

- ① 一般社団法人東京都歯科技工士会（都技）会員
- ② 学生
- ③ 東京都内在住在勤歯科技工士

### [申込期間]

- 東京都歯科技工士会会員・学生（上記①②番） : 12月15日(木) AM10時～
  - 東京都内在住在勤歯科技工士（上記③番） : 12月19日(月) AM10時～
- \*受付開始日前のお申し込みは無効といたします。 \*定員になり次第締切といたします。

### [申込方法]

- ① 参加希望者は右記QRコード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。  
ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>
- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。



申込用QR

### [LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



都技LINE公式  
アカウントQR

### [お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F  
e-mail: [togi-info@to-ginet.com](mailto:togi-info@to-ginet.com)

2022年度

## 最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅳ

### オンラインセミナー

### 【睡眠歯科セミナー】

## ～睡眠時無呼吸の臨床～

第1部 「歯科から発信する いびき・睡眠時無呼吸の臨床」

葭澤 秀一郎 先生

第2部 「睡眠時無呼吸・いびきに歯科の立場から取り組む」

～その他のオーラルアプライアンス臨床応用法について～

辻村 正康 先生



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

2023年 1月15日(日)

入室 12:40

開始 13:00 → 終了 17:00

### オンラインセミナー

定員 80名 参加費 無料

### 会場受講

定員 10名 参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室  
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

一般社団法人 東京都歯科技工士会



## 【睡眠歯科セミナー】～睡眠時無呼吸の臨床～

いびき・睡眠時無呼吸の臨床  
歯科から発信する

新型コロナの影響もあり、体調管理のための睡眠時間の確保、そして睡眠の質について注目されています。また、海外の学会に目を向けてみても、2014年前後からAARD (American Academy of Restorative Dentistry) などの補綴系の学会でもいびき・睡眠時無呼吸についての講演が毎年のように行われ、Dawson AcademyやSpear Educationなどの著名なスタディーグループでも睡眠時無呼吸に特化したセミナーを行うようになってきました。近年の研究では、日本における閉塞性睡眠時無呼吸 (OSA: Obstructive Sleep Apnea) の潜在患者は2,200万人に上るとも報告されています。しかし、正しく加療されている患者はごく僅かであるのが現状です。そもそも、患者自身がいびきや無呼吸に気づいていないことも多く、また、たとえ家族や友人の指摘により認識することがあったとしても、その原因、全身への影響、労働災害や交通事故などを引き起こすリスクを知らずに過ごしていることも少なくありません。さらに、睡眠時無呼吸の検査をできるクリニック・病院は多くありますが、患者さんが自身で見つけ出すことが困難であり、受診できていないケースもあります。これら受診機会の壁を取り除くために、我々、歯科医療従事者は何ができるのでしょうか？ 実は歯科はOSA治療に介入することに最適な職種です。それは患者の受診の頻度、歯科医療が対象とする年齢層、診察領域、検査機材がOSA患者とマッチするためです。歯科技工士の立場からは、口腔内の模型、顔貌写真を通して小顎、歯列不正からOSAを推測をすることができます。また、インプラント埋入用ステントのデザイン時のCT画像からは気道の広さを確認できることもあります。

本講演では、睡眠時無呼吸の病態、我々歯科医療従事者が臨床で気づくことのできるOSA患者の特徴、歯科での検査項目、医科との連携方法、治療アプローチ、現在の保険制度の問題点、今後の展望についてお話しさせていただきます。

## ■講師略歴

## 葎澤 秀一郎

[よしざわ しゅういちろう]



## 略歴

2013年3月 昭和大歯科補綴学講座大学院修了 (歯学博士)  
2013年4月 昭和大歯科補綴学講座 助教  
2014年～2016年 University of Southern California Orofacial pain and Oral medicine 客員研究員  
2018年4月 昭和大歯科補綴学講座 兼任講師  
2018年12月 University of Texas at San Antonio 補綴科Preceptorship program開始  
2019年6月 プログラム修了後帰国  
2019年7月 睡眠歯科リサーチセンター東京開設  
2022年4月 東京医科歯科大学(専)快眠歯科 (いびき・無呼吸) 外来 非常勤講師  
2022年現在 東京都・千葉県・栃木県・神奈川県・福岡県の計9つの歯科医院と連携をとり睡眠障害の患者の治療にあたる

学会：日本睡眠学会／日本睡眠歯科学会／日本補綴歯科学会／日本スポーツ歯科医学会  
資格：日本睡眠学会歯科専門医／日本睡眠歯科学会認定医・指導医  
受賞：平成25年度日本補綴歯科学会奨励論文賞／令和3年度日本睡眠歯科学会優秀発表賞

睡眠時無呼吸・いびきに歯科の立場から取り組む  
～その他のオーラルアプライアンス臨床応用法について～

快眠は誰もが望んでいることであり、また健康の基本である。ところが「夜熟睡できない」「昼間眠くて困る」など、何らかの睡眠障害がある患者が増加傾向にある。覚醒時の症候として「昼間の著しい眠気」「起床時の頭痛」「熟睡感がない」「知的能力の低下・作業能力の低下」「性格変化・抑うつ状態」「性欲低下・インポテンツ」が生じる。また、睡眠時の症候としては「習慣性的いびき」「頻繁に寝返りをうつなどの異常体動」「不眠・中途覚醒」「夜間の頻尿」などが特徴的である。特に昼間の著しい眠気は、無呼吸が反復するために息苦しさのため、脳波上覚醒を繰り返し、熟睡できない結果として生じる。しかし、これらの症状や睡眠中の異常を患者本人は気づいていないことも多く、家族から「いびきがひどい」とか、「睡眠中に呼吸が止まっている」と言われて受診する患者が多いと言われている。

そこで、可動式の装置 (サイレンサー SL) を用いてよい結果が得られたので紹介すると共に、制作する上での注意点や、その他のオーラルアプライアンス (上下一体型の睡眠時無呼吸の装置・マウスガード・ホワイトニングトレー・スプリント) などの臨床応用法についてもお伝えし、普段の技工作業の一助になればと考えております。

## ■講師略歴

## 辻村 正康

[つじむら まさやす]



## 略歴

1997年 横浜歯科技術専門学校卒業  
1998年 同校臨床研修課卒業  
1998年 同校専任教員就任  
2013年 一般社団法人かながわスポーツ健康づくり歯学協議会 常務理事  
2014年 日本スポーツ歯科医学会認定 MGテクニカルインストラクター  
2016年 日本歯科技工学会 歯科技工実習室の作業環境の改善に関する基礎的研究 (第1報) 熱源の違いによる排出二酸化炭素濃度の報告 論文掲載  
2016年 デジタル歯科学会 会員  
2016年 日本歯科技工学会認定 専門士  
2016年 全国歯科技工士教育協議会認定  
2018年 鶴見大学歯学部臨床研究科所属 (2019年3月まで)  
2019年 中国大連中日口腔医学フォーラム MG講演  
2019年 中国廈門 CORES MG講演